

毎月、地域づくりの各地の活動を紹介しています。今月は、イタリアからのレポートです。

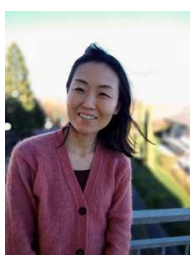
「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」より配信。 <https://enekei.jp/>

【連載】金丸弘美氏に聞く 農業・食・エネルギーの現場から⑩

～観光と都市との交流に大きく繋がるアグリツーリズム～ イタリアへ農村観光と食の連携を学ぶ

メルマガの2023年5・6月号での寄稿「岡崎啓子氏に聞く（イタリア・エミリア＝ロマーニャ州在住）

アグリツーリズムと再生エネルギー～イタリアからの現地レポート」①②～



岡崎さんが紹介されたアグリツーリズムの現地を訪ねようと2024年10月6日から

16日までイタリアへでかけた。岡崎さん家族が住んでいる北東部のエミリア＝ロマーニャ州と、そのお隣で、岡崎さんが卒業したスローフード食科学大学がある北西部ピエモンテ州を訪ねた。

続きは<<https://enekei.jp/mmc/mailmagavol241-5.html>>こちらからお読みください



農業・食・エネルギーの現場から ～総合マネジメントによる地域づくり～ ⑮

世界に酒文化を発信 尾畑酒造(株)新潟県佐渡市～世界15カ国に輸出され内外に多くのファンを持つ。1892(明治25年)以来、「真野鶴」で知られる蔵元・尾畑酒造株式会社(平島健代表取締役社長)だ。佐渡金山坑道での熟成酒造りの古酒も手掛けている。



「地域連携の有機農業を創造・山梨県北杜市(株)ファーマン・井上農場」井上能孝さん。野菜の栽培と加工商品開発や販売。学校や企業の農業体験、グランピングを使った農村観光の受け入れ、農福連携、廃校活用のポルダリングや宿泊施設の運営など町全体の経済と持続社会に繋がる事業となっている。



👉パート1



👉パート2

●～有機農業と生物多様性の里山再生に取り組む石坂産業脱炭素への取組 その1、その2～

遊休農地を落ち葉堆肥の有機農業で復活

●埼玉県入間郡三芳町上富に、農業法人「株石坂オーガニックファーム」を立ちあげ約 2・3haで有機農業を行いながら、江戸期に生まれた東京ドーム4個分の広さの里山を地権者と三芳町とともに連携し「三富今昔村」(さんとめこんじゃくむら)として名付けた環境教育フィールドとして再生させたのは、産業廃棄物中間処理業を運営する石坂産業株式会社(石坂典子代表取締役)だ。

続きは<<https://enekei.jp/mmc/mailmagavol236-4.html>>コチラからお読みください。



続きは QR コードから その2

●2024年3月、4月号は、NPO 法人上田市民エネルギー特集。長野県上田市から広がった

市民・地域事業者・市・県連携の未来を見据えた脱炭素の取り組み 「脱炭素先行地域」長野県上田市は環境省の「脱炭素先行地域」に選定。テーマは「ローカル鉄道と市民がともに支え合う「ゼロカーボン×交通まちづくり」だ。

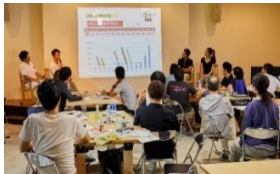


👉パート1

👉パート2

●<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1219&a=2023>

●2023年7月号「練馬区の都市農業と若者の新規就農と起業支援」 8月号「道の駅 ましこ」



9月号「福岡県久留米市のZEB」 10月号千葉県「グリーンアース」

11月号「東急リゾートタウン蓼科」



都市農業を牽引する東京都練馬区の農業体験農園 (その1 その2 その3)





●「月刊 NOSAI」(全国農業共済協会)2025年1月号「食の農で高める地域の力」 連載42号  
 イタリア・アグリツーリズムの旅 その2 イタリア共和国北西部ピエモンテ州クオーネ県アルド・サルトーレ氏にお会いした。観光の振興に関わっている地元の名士。アルド氏から、これまでのアグリツーリズムの流れと、食と文化と体験と景観を活かした細やかな取組がおこなれてきたことを話していただき、改めて、農村観光の周到で丁寧な活動が行われてきたかを学ぶことができ、大きな収穫の1日となった。



👉 全国農業共済協会 H

これまでの掲載記事一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=1257&a=2024>



●住生活産業総合情報誌「ハウジングトリビューン」 「田舎再生の現場から」 連載65

2025年1号 1月号 <https://htonline.sohjusha.co.jp/>

イタリアへ北東部のエミリア＝ロマーニャ州フィオレンツォーラにあるアグリツーリズム・パッティブーエ (Agriturismo Battibue) <https://battibue.it/>を訪ねた。丘陵地にある。手入れされた庭園や樹木があり、周辺は田園地帯となっていて、緑も豊か。まるで公園のよう。農園内にレストランもある。泊まった部屋はダブルベッドがありベビーベッド付き。専用バスルームもある。家族で過ごせるよう配慮されている。全部で9室。ゆったりとした部屋が用意してある。



👉 バックナンバー

<https://htonline.sohjusha.co.jp/rensai/kanemaru-report/>

●食の雑誌「味の味」(アイディア) エッセイ「地食がおもしろい」を隔月連載。2024年12月号106回

<http://www.ajinoaji.com/> 「五感で味わうイタリア食の旅」 パルミジャーノレッジャーノ



👉 (「味の味」は HP 掲載のお店にあります) <http://www.ajinoaji.com/> <https://x.gd/75Zny> (バックナンバー)

## ●地域総合整備財団(ふるさと財団)

地域未来創生スクール【第1期生募集中!】 講師として参加します。

(主催:一般財団法人地域総合整備財団(ふるさと財団) 自治体向け事業



👉 講座内容と講師紹介

## ●自治体向けの雑誌【実践自治 Beacon Authority】(イマジン出版)100号記念号(12月25日)

「これからの自治体と地方創生」をテーマに6ページを組んでいただきました。

主な内容は以下のとおりです。読んでいただくと嬉しいです

### ●産官学金融包括の人材教育と融資と投資を

・「NPO ふるさと回帰支援センター」には過去最高の移住相談 ・東京圏の20代45%が移住に興味あり

・地方から女性が転出理由は「やりたい仕事、やりがいのある仕事がない」

・注目の高知県と和歌山県田辺市の起業支援 ・人と人との出会いの場から生まれる連携事業

### ●移住・定住・起業支援を具体化し見える化を

・デジタル田園都市の前に地域の具体的な絵づくりを ・広域連携で地方の魅力を発信する

・農泊推進をするにはノウハウを学ぶ場を ・食のブランドにはテキストの作成を



●YouTube配信●

名豊塾 特別講演会「地域を元気に 里山の暮らしから観光・経済につなぐ新たな連携」

<https://www.youtube.com/watch?v=-PNJgv5pfU0&t=128s>



講師:金丸弘美 食環境ジャーナリスト・食総合プロデューサー

制作・著作:び〜ぶる放送 (佐賀県唐津市鎮西町「名豊塾」講義より)

●大阪公立大学都市経営研究科 公開シンポジウム(前編)(後編) YouTube配信

「自然な農と食を活かした地域活性化」 <https://youtu.be/VTW-NfgQBQg>



(前編) 東京都練馬区から広がる都市農業、長崎県大村市の新規就農と新たな農村観光

(後編) 富山県立山町の坂口創作さんの新規就農、福井県若狭町の就農起業支援事業他。

●「食育で育む未来の町づくり」YouTube配信 <https://www.youtube.com/watch?v=-ztpU9TX8J8>

(制作: 京都府宇治市&「うーちゃんねる」) 写真は高知県中土佐町と豊岡市のコウノトリの稲作



●「地方創生」を支援する国の人材派遣事業。

国の人材派遣事業:金丸弘美は登録されており、国の制度で現地にうかがうことができます。

●総務省の人材派遣事業 総務省地域力創造アドバイザー 地方創生のサポート。

<https://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/>

●内閣官房の伝道師派遣制度 内閣官房地域活性化伝道師 地方創生のサポート。

<https://www.chisou.go.jp/tiiki/dendoushi/index.html>



👉 総務省



👉 内閣府



👉 金丸弘美ホームページ

●金丸弘美 ホームページ <https://www.kanamaru-jp.com/home/index.php>



●金丸弘美の好評の地域創りの本●

『田舎力～ヒト・夢・カネが集まる5つの法則』金丸弘美著（NHK出版生活人新書）

上野千鶴子さん、小山薫堂さん推薦。15刷り。有川ひろさん『県庁おもてなし課』、「毎日新聞」

「朝日新聞」他65媒体で紹介。<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=158&a=1>

『実践！ 田舎力 小さくても経済が回る5つの方法』(NHK 新書)

「週刊東洋経済」「月刊ガバナンス」「旅の手帖」「週刊ダイヤモンド」など16媒体で紹介。

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=191&a=1>

「ゆらしい島のスローライフ」 金丸弘美著(学研)電子書籍版でも絶賛発売中。

絵:唐仁原教久、写真:阿部雄介 小泉武夫氏推薦(作家・発酵学者)

<https://www.kanamaru-jp.com/book/bookdetail.php?no=1118&a=1>



●金丸弘美の著作。地域活動の実践例を紹介。



『創造的な食育ワークショップ』(岩波書店)

『えんや 写真集・唐津くんち』写真:英伸三(家の光協会=JA 出版部)

『えんや! 曳山が見た唐津』(無明舎出版) 『地域ブランドを引き出す力』(合同出版)

『美味しい田舎のつくりかた:地域の味が、人とつなぎ、地域を耕す』(学芸出版)



『地域の食をブランドにする! 食のテキストをつくらう』(岩波ブックレット)

『タカラは足元にあり!』(合同出版) 『給食で育つ賢い子ども』(木楽舎)

『里山産業論』(角川書店) 『幸せな田舎のつくりかた』(学芸出版)

『田舎の力が 未来をつくる!ヒト・カネ・コトが持続するローカルからの変革』(合同出版)



👉金丸弘美書籍一覧 <https://www.kanamaru-jp.com/book/index.php>

★●Women's Action Network(上野千鶴子理事長)農業と食の現場で活躍する女性を紹介。

## 「金丸弘美のニッポンはおいしい！」

「佐渡島の酒蔵から国際交流の場を生み出す」尾畑酒造・尾畑留美子さん 連載29



👉バックナンバー

<https://www.kanamaru-jp.com/yotei/yoteidetail.php?&no=768&a=2017>

●スペシャル連載「私が食ジャーナリストになった理由(わけ)」(全4回)



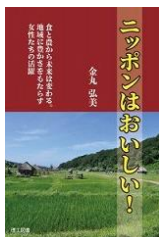
●連載が本になりました！ 農業と食から持続社会に繋ぐ素敵な女性たちが登場します。

「ニッポンはおいしい！」=食と農から未来は変わる。地域に豊かさをもたらす女性たちの活躍=

金丸弘美著 理工図書出版 四六判 216頁 2,090円(税込) <https://x.gd/gunBM>

★上野千鶴子さん推薦(社会学者・東大名誉教授)「女性がつくる日本農業の未来！」★

「生島ヒロシのお早う一直線」「月刊ガバナンス」「クーヨン」「旅行新聞」「月刊 JA」「西日本新聞」「農業共済新聞」「中小企業家しんぶん」「食料新聞」「週刊金曜日」「ハウジングトリビューン」「味の味」【実践自治 Beacon Authority】「地域づくり」「月刊学校給食」「月刊 NOSAI」「月刊社会民主」「社会新報」「しんぶん赤旗」「潮」など 30 媒体で紹介。



●YouTube 配信 素敵な旅と本との紹介とでYouTube番組で配信されました。

「初めての農家民泊 岐阜県 佐伯農場 ～ニッポンは美味しい 金丸弘美氏に聞く～」

<https://youtu.be/DG8rw3nl6uc> 制作配信:京都府宇治市「うじテレビ」(ディレクター森田誠二さん)



👉YouTube



「ニッポンはおいしい！」=食と農から未来は変わる。域に豊さをもたらす女性たちの活躍」

金丸弘美著（理工図書出版） ISBN978-4-8446-0965-0 定価:2,090 円(税込)

農業と食から持続社会に繋がる活動をしている女性が登場します。

農業書で女性がメインの実践現場レポートの本は、おそらく初めてでしょう。

どの事例もドラマチックで、発想と行動力が、素晴らしいです。ぜひ読んでください。

上野千鶴子さん推薦（社会学者・東大名誉教授）

女性がつくる日本農業の未来！



◎消費者との接点を見出した新たな食と農 愛知県名古屋市：オーガニック朝市・吉野隆子さん/福岡県宗像市：道の駅むなかた「漁師直行超鮮度の魚がならぶ」伊藤美幸さん ◎食と農と体験を離島や農村の観光に繋ぐ山口県周防大島町瀬戸内ジャムズガーデン松嶋智明さん/兵庫県西宮市：Table a Cloth 「おいしい食体験ができる宿」・岡田奈穂子さん ◎海外からの視点と連携を生み出した新たな挑戦 埼玉県秩父：秩父蒸溜所・ブランドアンバサダー吉川由美さん/千葉県いすみ市：高秀牧場「ジェラート店とチーズ工房運営」馬上温香さん ◎持続社会と地域経済に繋ぐ農業 静岡県菊川市：野菜くらぶ「ゼロから農業開始30haの大規模農家へ！塚本佳子さん/神奈川県寒川町：(株)菱和園・お茶が大好き！お茶のよさを届けたい」山田仁子さん ◎地域の食と環境の豊さを人々に繋ぐ 山形県米沢市：野菜農園笑伝 EDEN 子供の明るい未来を創る農業をしたい我妻飛鳥さん/リベラルファーム米沢ブランド米沢牛を支えるお母さん鈴木純子さん ◎都市の農業での新たな挑戦 埼玉県さいたま市・さいたまヨーロッパ野菜研究会福田裕子さん/東京都日野市：株式会社ネイバーズファーム・都市農業の魅力を広げていきたい 梅村桂さん